

「徳島新未来創生総合計画」の評価結果の概要

1 趣旨

県政の運営指針である「徳島新未来創生総合計画」（以下「総合計画」という。）は、より効果的・効率的な「実効性のある計画」として、社会情勢の変化や県民ニーズに即応していく必要があるため、「P D C Aサイクル」による政策評価の手法を活用し、計画の改善見直しに向けた評価を行った。

2 評価方法

総合計画の作成及びその実施に関する重要事項を調査審議するため、「徳島県総合計画審議会」（以下「審議会」という。）を設置している。

令和7年8月19日（火）に開催した審議会において、令和6年度から令和10年度までの5年間の計画期間のうち、計画初年度に当たる令和6年度の施策を対象に「委員からの意見」を頂き、K P I（93項目）の進捗状況やK P I達成に向けた県の主な取組に対する評価を行った。

3 評価結果

（1）K P Iの進捗状況

K P Iを所管する各所属において、目標値の達成に向けた令和6年（度）の進捗状況について、「順調」、「現状維持」、「後退」の3段階で判定を行った。

表1

| ミッション | 順調 | 現状維持 | 後退 | 判定外 ^(*) | 計 |
|-------|----|------|----|--------------------|----|
| 安心度 | 26 | 6 | 6 | 11 | 49 |
| 魅力度 | 22 | 3 | 5 | 5 | 35 |
| 透明度 | 9 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 計 | 57 | 9 | 11 | 16 | 93 |

※「判定外」とは、評価時点で、計画の期間内である令和6年（度）の数値が未判明であるため、進捗状況を判定していないK P Iのこと。

(2) 委員からの意見（抜粋）

① 安心度

<戦略1> 徳島新未来創生に向けた教育再生

【全国体力・運動能力、運動習慣等調査の県の平均得点と全国との比較】

最近の猛暑により、子どもたちの運動する機会が少なくなっています。夏休み中も学校のプール開放がなくなり、運動習慣の確立といいつつ機会は失われていることが心配されます。大人の運動習慣確立とも合わせて地域総合型スポーツクラブの拡充も必要ではないでしょうか。

<戦略3> 切れ目のない子育て支援をはじめとした「こどもまんなか社会」の実現

【「はぐくみ支援企業」の認証事業所数】

子育て中の両親の勤務先に関する取組を認証、表彰するだけにとどまらず、具体的な枠組みについてご検討いただけますと幸いです。男女共に、子育てと仕事の両立を実現できる環境を社会が作り上げることが喫緊の課題と考えます。

<戦略4> グリーン社会の構築

【県内の「生物多様性リーダー」の育成（認定）数】

育成したリーダーの活動状況を把握し、普及活動、保全活動の進展を把握していただきたい。

<戦略6> 危機管理体制の充実と県土強靭化（レジリエンス）の推進

【DMATの体制整備数】

派遣訓練だけでなく、南海トラフ地震などで援助を受ける側になった場合に系統的な指示ができるような訓練やシステムづくりもお願いします。

<戦略7> 県民生活の安全・安心確保

【特殊詐欺被害件数】

件数増加をくいとめるのは未然防止しかなく、新たな手口の周知や啓発により県民一人ひとりに意識を持ってもらうことが最重要です。相談を待つのではなく、関係機関から積極的に県民に対して啓発を積極的に行う必要があると思います。

② 魅力度

＜戦略 8＞ 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

【全般】

高齢者、障がい者には旅行をしたいという欲求は相当ありますが、ソフト・ハード面のバリアにより旅行を諦めている場合があります。観光庁では、平成20年3月には観光のユニバーサルデザイン化手引書を作るなどユニバーサルツーリズム（UT）の歴史は相当に古いと思います。UTとは、すべての人が楽しめるよう創られた旅行であり、日本人だけでなく、外国人向けにも選択肢のあるUTモデルツアーを作成し、売り出してはどうでしょうか。兵庫県のように条例を制定し、県の意思を表明するのも一方法であると思います。少なくとも、総合計画に、新しくUTという施策を入れ、施策の方向性を示してはどうでしょうか。

＜戦略 10＞ スポーツ立県の推進

【成人のスポーツ実施率】

成人のスポーツ実施率向上のため、企業と個人の両面からアプローチを強化することを提案します。

- ・企業への働きかけ：スポーツ庁が推進する「スポーツエールカンパニー」制度の認定取得を、県として強力に後押し。
- ・個人への働きかけ：健康アプリ「テクとく」の活用を一層推進。個人の健康情報を一元管理できるPHR機能を強化し、健診結果の経年変化を可視化するなど、行動変容への動機付けを強化。
- ・統合アプリへの進化：「テクとく」を県内プロスポーツチームのアプリと統合し、「総合スポーツアプリ」として進化させ、健康増進とスポーツ振興の相乗効果を創出。

③ 透明度

＜戦略 16＞ 時代のニーズに対応する県政運営体制

【超過勤務時間数】

本審議会を含め、各種審議会や委員会等において、職員の方が複数で事前説明のために委員を訪ねて下さることが多くありますが、電話やメール等他の手段でも可能ではないかと思います。長時間労働の是正のために効率化の可能な業務についてご検討いただければと思います。